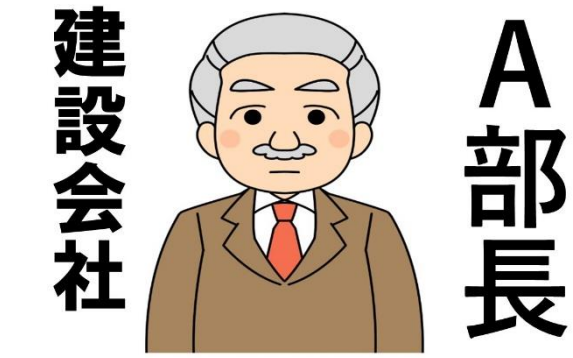
事故予防！ハインリッヒの法則

社員研修マンガ教材

ビジネスケーススタディ
紙芝居



こちらは、とある建設会社に勤務するＡ部長です。Ａ部長はとある会社で、主に、社内で、社員の教育・研修を任されていました。

このＡ部長、なにやら、困った顔をしています。

『うーん、最近、工事現場で、ポツポツと小さな事故が増え始めているんだよなぁ。
ヒヤリハットも増えているし、どうしたら良いのだろうか。
わが社でも、過去に一度、重大な事故で、死亡者まで出てしまう痛ましい事故が発生したこともあるから、次回の社員研修では、やっぱり、事故をいかに予防するかについて、研修したいんだけど、どうしたら良いのだろうか。
ただ、事故を予防することについては、もう何度も何度も伝えているんだよなぁ』

『そうだ、先日、社員研修を担当してくれた、研修講師の先生に、ちょっと相談してみようかな』

研修講師

B先生

小さな事故

ヒヤリハット

研修講師

B先生

重大な事故発生
背後に軽微事故
何件？

こちらが、研修講師のＢ先生です。

『Ａさん、こんにちは。先日の研修では、おつかれさまでした。
今日は、どうされましたか？』

『先生、ちょっと相談させていただきたいことがありまして。
私は、社内で、主に、社員の教育・研修を担当しているのです。
そして、最近、工事現場で、小さな事故や、ヒヤリハットが起きているんです。
過去に一度、重大な事故が起きたこともあるので、やっぱり、現場のみんなに、もう一度安全意識を高めてもらいたいと思っているんです。ただ、もう安全については、何度も何度も伝えているので、次はなにを伝えようかなぁと悩んでおりまして』

『なるほど、そうだったのですね。
それでしたら、Ａさん、ちょっと数字のクイズを出してもいいですか？ 』

『えっ！いきなり、クイズですか。はい、わかりました。お願いします』

『ある建設現場があるとして、その建設現場で重大な事故が起きたとします。
この場合、この背後には、何件くらいの軽微な事故があると思いますか？』

『１件の重大な事故が発生した場合に、その背後に何件くらいの軽微な事故があるか？ですか・・・。えっと、まったく想像つかないです』

『はい、そうですよね、突然言われても、難しいですよね』

軽微事故２９件
その背後に異常
何件？

『これ、とある説によると、２９件と言われています。そして、その背後には、さらにどれくらいの数の異常があると言われていると思いますか？』

『２９件の軽微な事故の背後の異常の数ですか。いやー、ちょっと全く、想像つかないです』

３００件
ハインリッヒ
の法則

『はい、そうですよね。これは、３００と言われています。これは「ハインリッヒの法則」と言われているんです。
　１９２９年に、アメリカの損害保険会社に勤務していたハーバート・ウィリアム・ハインリッヒさんという方が、執筆した論文があるんです』

１件の重大事故
背後には２９件
の軽微な事故
その背後には
３００件の異常

『なんと、そうなのですね、３００の異常が背後にあるんですね。
　うーん、なるほど、ハインリッヒの法則ですか。
　１件の重大な事故の背後には２９件の軽微な事故があって、その背後には３００の異常がある、ですか。なるほどです』

『そうすると、最近、小さな事故や、ヒヤリハットが起きているということは、重大事故が起きる予兆なのかもしれないと思って、なんだか、とても怖くなってきました。
　すぐに対策を考えたいと思いますし、これを社員研修でみんなに知ってもらいたいと思いました。
　先生、ありがとうございます。がんばります』

＜参考＞
「安全意識を高めたい・・・」
「事故を予防したい・・・」
「安全教育の教材を増やしたい・・・」
　今回は、ハインリッヒの法則をクイズ形式でお伝えする物語を、マンガ形式でお伝えしました。ご参考にしていただけましたら幸いです。